

□■受験対策ミニ講座 19号 2020□■

いよいよ国家試験です。滋養のあるものを取り、睡眠もしっかりとって体調を整え、平常心で臨んでください。

会場付近の飲食店は混雑が予想されるため、昼食持参をお勧めします。食べなれた軽いものですませるのが無難ですね。自販機も売り切れることがあるので、水分は必ず持参しましょう。

休憩時間は知り合いのおしゃべりではなく、愛用した問題集、参考書などの“パラパラ見”をしましょう。「この時間を活用することは、確実に効果がある」と多くの先輩が語っています。

この試験は競争試験ではなく、基準点以上であれば合格できる試験です。諦めることなく、最後まで誠実にとりくんでください。時間配分に気を付ける！「二つ選べ」を見落とさない！！が、最後の確認事項です。

最後の過去問は、社会政策のなかで福祉政策が大きな位置を占めていることが実感される問題です。

※巻末には当日の持ち物チェックリストを掲載しています。

【27回 15 社会理論と社会システム】

社会指標に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選べ。

- 1 社会指標のねらいは、経済的な豊かさを測定することであり、国内総生産（GDP）などがよく用いられる。
- 2 社会指標とは、主観的評価ではなく、客観的な要因を数量化したものである。
- 3 社会指標のねらいは、その社会の福祉水準を測定し、政策に活用することにある。
- 4 社会指標は、個別の分野の目標達成の指標ではなく、総合的な指標として用いられる。
- 5 社会指標の開発は、2000年代に入り OECD や国際連合などの国際機関を中心に始まった。

正解と解説は最後に記載しています。

■Plus Column

【より良い社会への道しるべ】

近年頻出の「社会指標」に関する問題は、この欄でも何度かとりあげました。

第二次大戦後、先進諸国の政治目標のひとつであった「福祉国家の建設」は、様々な変遷を経て今日に至ります。経済成長のなかで福祉国家建設が進められた時代には、主に GDP のような「経済指標」が用いられました。低成長の時代には経済指標だけに頼らない「社会指標」に注目が集まり、国連は 1990 年に平均余命や識字率などを含む「人間開発指数 HDI」を発表しました。その後、女性の活躍度を示す「ジェンダーエンパワメント指数 GEM」や 40 歳未満での死亡率や安全な水の確保、医療の受けやすさなどを含む「人間貧困指数 HPI」が発表されています。

1980 年代以降の「ポスト産業化」といわれる時代には、雇用形態も多様化し、製造業の工業労働者を中心に考えられた従来の社会保障体制を見直す必要がでてきます。90 年代以降、経済のグローバル化が進むと、近代に成立した「国民国家」という枠組みの再検討も必要となっていきます。

21 世紀に入り、国籍や雇用形態、セクシャリティなど様々な属性に関わらず、すべての人が安心して暮らせる社会を構築していくことが求められています。こうした時代の変化の中で「社会指標」は、各国の政策決定に活用されるために開発されています。代表的な項目は、医療・栄養・保健・教育・労働・余暇・雇用・所得・消費・住居・環境・安全・交通・通信・社会保障・家庭生活 etc....どれもが「福祉課題」であることは明白ですね。

このような、たくさんの課題に取り組んでいくために、最後まであきらめずに頑張ってください！

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【27回 15：解説と正解】

- 1 × 経済的だけではない、社会の様々な分野における豊かさを測定する指標として考えられています。
- 2 × 社会指標は、客観的指標だけではなく、「幸福感」のような主観的指標の側面も測定します。
- 3 ○
- 4 × 社会指標は、個別分野の目標達成指標としても用いられます。
- 5 × 社会指標の開発は、1960 年代から始められています。

【さあ、がんばろう！！当日の持ち物チェックリスト】

- 受験票
- 交通経路のメモ
- 財布
- 腕時計
- めがね
- 上履き（必要とされている場合）

- HB の鉛筆
- 小型の鉛筆削り
- または
- シャープペンシル
- シャープペンシルの替え芯

- 消しゴム

- 愛用の参考書、問題集など

- 常備薬
- のど飴
- マスク
- 使い捨てカイロ
- ひざかけ 座布団など

- ハンカチ・タオル
- ポケットティッシュ
- 昼食
- 飲み物
- おやつなど

養成所一同、みなさまのご健闘を心からお祈りしています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus